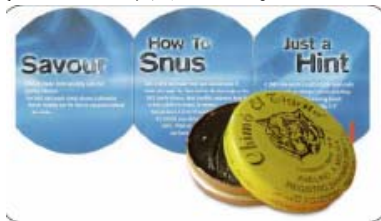


燃やさない「口内」または「無煙」たばこ

- 無煙たばこはとくに若年層にたばこ使用への入門篇として売り込まれてきた。
- たばこ会社はいまや既存のスモーカーにも、喫煙が許されない事情の場にあつて、**代替物**として使うよう、いっそう積極的に売り込んでいる。
- 世界のいくつかの地域では、伝統的な口に含む(噛む)無煙たばこが、主たるたばこ使用形態として存在する。
- 燃焼を伴わない口中たばこは非常に依存性が強く、口や歯の深刻な疾病、また頭、首、喉、食道がんの原因となる。



無煙たばこのタイプ

- **噛みたばこ**は短い草のようにカットされ、ほしい時いつでも噛めるように作られている。東南アジア地域では、タバコがビンロウジュ、キンマなどいろいろなハーブやスパイスと混ぜられて、多種類の噛みたばことなっている。
 - **スナッフ**は挽いたコーヒーの大粒程度に刻まれて、湿り気がある。歯茎と頬内面に挟んで使う。
 - **スウェーデンスヌース**はスナッフの変形で、製法もちがう。湿気も多く、冷蔵が必要なものもある。
 - **グッカ**はインドや東南アジアで市販用に製造された口内用たばこで、甘くて香りのついたドライビンロウジュナッツ、カテキュ、消石灰や他の香辛料を混ぜたものだ。インドではグッカは若い世代や女性を引き付けている。なぜなら、それは社会的制裁をあびることなく噛んでいられるたばこだから。
- 無煙たばこを含めたたばこ使用やアルコールの飲み過ぎは口腔がんの顕著なリスク要因で、口腔がんの90%が無煙たばこが原因と推定されている。

たばこ製品早わかり図説

紙巻たばこ, ビディ, クレテック, 葉巻, パイプたばこ, 有機, 自然, 無添加紙巻たばこ

未来のたばこ製品

たばこ会社は膨大な費用を使って「害が少ないたばこ」と言われる製品の調査と新製品開発を続けているが、それらのどれもが長期の健康影響について、スト結果がまだ出されていない。

疫学上の確固たるデータなしになされる、いかなる「害の少ないたばこ」という主張も、疑いをもって見るべきだ。

新製品には警戒が必要だ。既存品、新製品を問わず市場に出る全てのたばこに規制が必要だ。





たばこ製品早わかり図説

紙巻たばこ, ビディ, クレテック, 葉巻, パイプたばこ, 有機, 自然, 無添加紙巻たばこ

現在のたばこ製品

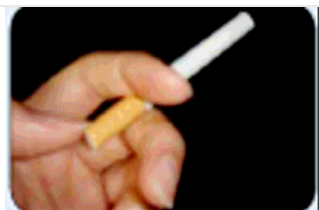
巻きたばこ

紙巻たばこ(シガレット)

→紙巻たばこは熟成して刻んだタバコ葉を小さな筒状の紙の中に詰めたものだ。最終製品の成分は、通常多くのタバコ以外の添加物——残留殺虫剤, 除草剤, 肥料, 重金属, 砒素, 青酸化合物その他の毒物を含んでいる。

→たばこ煙は4千種類以上の化学物質を含み, その多くは毒性や発がん性がある。

→紙巻たばこは世界中に広がっており, 人類の造った最も致命的で, 依存性の強いものである。製造者の意図通りに使用した場合, 使用者の約半数を殺す。



→何十年も膨大な費用をかけ, 害を減らして改良したという主張やほのめかし, また健康的なイメージの提示にもかかわらず,

フィルター付きたばこや「ライト, マイルド」とか, 低タールなど種々のたばこに, 健康リスクを実際減らすエビデンスはまずない。

有機的, 自然の, 無添加紙巻たばこ

→「有機的」, 「自然」, 「無添加」などの言葉が紙巻たばこにつけられた時, 食物などと同じ意味は持ち得ない。なぜならたばこ自身が最も致命的な成分を含み, それを燃やした時に最も致命的な副産物が発生するのだから。

手巻きたばこ (シガレット)

→「手巻きたばこ (シガレット)」用に売られている材料は, より健康的, または市販されているレディメイドのたばこよりは毒性が少ない印象の広告をしている。

→このタイプのたばこが商業的に製造されたたばこより毒性が少ないことを確認するデータは何もない。

→いくつかの研究による新商品がより高いタールへの暴露に繋がると示唆している。

ビディとクレテック

→これらは小さく、多くは手製で、主として東南アジアと中東地域で、用いられている。

→地域によってスパイスやハーブの好みが変わり、成分はタバコ葉の割合が大きい、タバコ葉が主体とは限らない。

ビディ

- 典型的なビディはボンベイ黒檀などの葉で数百ミリグラムのタバコが包まれている。
- 輸出用ビディは種々のスパイスや香料が入っている。
- 東南アジアで最も普及しているが、エキゾチックとか、従来のタバコより害が少ない代替品と言われて、輸出が増えている。
- ビディ喫煙は口腔がんに関連しているだけでなく、肺がん、胃がん、食道がん、また心血管疾患のリスクも増やす。



クレテック

- クローブシガレットとしても知られている。通常約40%のクローブ(丁字)と60%のタバコからできている。

- ニコチンと他の毒物はクレテックの方が多様で、市販の製造タバコや他の伝統的タバコより幅が大きい。

- これらのタバコはインドシアで有力なものだったが、他の国やインターネットを通じて売られるようになった。世界中で簡単に手に入り、使用できるようになりつつある。

- 活用できるエビデンスは、クレテックが従来の紙巻タバコと同様の疾病を起こすことを示唆している。



葉巻

→葉巻はタバコ葉をタバコの葉に包んだものだ。機械製造の葉巻はタバコ葉を原料とした紙で巻いてあり、手巻きにも同様なものがある。それら

はシートタバコなどと呼ばれている。

→葉巻は通常紙巻の数倍のタバコ葉を含んでおり、そのサイズは不定タバコである。

→葉巻タバコの使用は世界中に広がっている。

→葉巻は火をつけなくても使用者をニコチンその他の物質に触れさせる。火のついていない葉巻をただくわえているだけで使用者は毒物に触れていることになる。葉巻使用は肺がん、食道がん、喉頭がんや口内疾患の原因となる。

たばこ製品早わかり図説

紙巻タバコ、ビディ、クレテック、葉巻、パイプタバコ、有機、自然、無添加紙巻タバコ

その他の喫煙方法 パイプ、水パイプ

パイプ

→喫煙用パイプは通常タバコを詰めて燃やす小さなボウルと細い管と吸い口から成っている。

→パイプの煙は紙巻タバコよりアルカリ度が高いので、ハイレベルのニコチン依存を維持するために直接吸い込む必要がない。

→パイプ喫煙者と非喫煙者は数本の紙巻タバコと同程度のタバコ煙にさらされるかも知れない。

→パイプ喫煙者は慢性閉塞性肺疾患、頭頸部、口腔、喉頭、食道等のがん、肺がんのより高いリスクを抱えている。口唇や口腔がんについては、パイプ喫煙者は紙巻タバコ喫煙者よりもさらに高いリスクを負っている。

水パイプ

(HOOKAHS, BHANGS, NARGHILES, SHISHAS)

→水パイプは薬物の煙を吸い込む前に水を通す(泡をたてる)形式に種類がいろいろある。

→フレーバーつきたばこの導入にともなって、水パイプ使用が劇的に増加している。すでに普及している東南アジアや中近東だけでなく、世界中でとくに若者たちの間で(カレッジキャンパスその他で)広がっている。

→水パイプに関して肺疾患やがんなど不健康と疾病が記録されている。

→タバコ関連疾患に加えて、パイプの回し喫みによる肺結核、ヘルペスや肝炎などの感染の危険性が増加している。

(本連盟 仲野暢子賛助会員編)